

# GIGA・江戸戯画から近代漫画へ MANGA

## ◆3つの章立てで紹介◆

現代の漫画的表現のルーツといえる作品を、江戸時代から近代への大きな時代の流れに沿ってご紹介します。

第1章 商品としての量産漫画の誕生 江戸中期からの戯画の大衆化 ～戯画本・戯画浮世絵～

第2章 職業漫画家の誕生 ～ポンチ・漫画の時代へ～

第3章 ストーリー漫画の台頭 ～昭和初期から終戦まで～

## ◆総展示作品数は約 270 点◆

時代の枠組みを越えて、総数約 270 点の「漫画のルーツ」が集合します。

より多くの作品をご覧いただくため、当館初となる前期・中期・後期の3つの会期で展示替えを行います。

<主な出品作品>

- ・世の中にあふれている「よし」（良いこと）を集めた作品 | 歌川国芳「浮世よしづ久志」
- ・漫画の原点ともいえるコマ表現やキャラクター性に注目 | 葛飾北斎『北斎漫画』
- ・人気絵師暁斎がことわざを戯画化したシリーズ | 河鍋暁斎「狂斎百図」
- ・時局諷刺画「ポンチ」という言葉のきっかけ | チャールズ・ワーグマン『THE JAPAN PUNCH』
- ・全頁カラーでビジュアル重視、明治の漫画雑誌ブームの火付け役 | 『東京パック』
- ・日本初の日刊連載の新聞4コマ漫画 | 小星・東風人『お伽 正ちゃんの冒険』

## 浮世絵版画 ~第一章の展示から~

江戸時代は印刷出版技術が発展し、浮世絵版画の分野で、北斎や国芳など全国的な人気を誇る絵師が次々と登場。なかには諷刺を込めた「戯画」が多数登場し、民衆の人気を集めました。

\*戯画 | 人物の顔や動物などを遊びの目的や滑稽さ、諷刺的な意味を持たせて描かれた絵のこと。

多様な発想で人々を楽しませた 「遊び絵」。

本作は、「ゑんぎがよし」「きげんがよし」「ゆめでもよし」など「よし」（良いこと）が集合！



歌川国芳「浮世よしづく(く)志(し)」(前期) 京都精華大学国際マンガ研究センター/京都国際マンガミュージアム蔵

暁斎がことわざを題材にユーモアを交えて 戯画化したシリーズ「狂斎百図」。「藪から棒」では、七賢人が竹藪の向こうから伸びる孫悟空に棒でつつかれ、びっくり！



河鍋暁斎「狂斎百図」やぶからぼう／七賢人（中期）  
京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム蔵



葛飾北斎『北斎漫画』八編 無礼講（後期）すみだ北斎美術館蔵

『北斎漫画』には、コマ表現や、キャラクター性を感じる描写が、多く確認できます。くすっと笑ってしまうようなポーズは、一連の動きから切り取ったような表現。

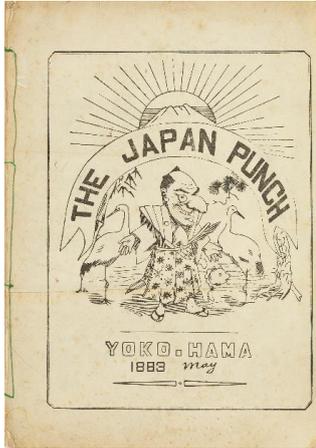
心や言葉のメッセージを伝える「吹き出し」」。本作では、美味しいものを求める「口がよく（欲）」歌舞伎を観たい「目がよく（欲）」などの欲望が描き込まれています。



歌川芳藤「心夢吉凶鏡」（前期）京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム蔵

## 近代漫画 ～第2章・第3章の展示～

明治時代になると海外の影響を受け、時事的テーマ等を諷刺画と文章で紹介した漫画雑誌が登場。教科書でも目にするワグマン『THE JAPAN PUNCH』をはじめとした明治時代の貴重書は必見です。



日本初の日刊連載の新聞4コマ漫画。キャラクター性のある絵柄とストーリー展開で多くの読者に親しまれました。



時事的なテーマや横浜居留地内の出来事を、皮肉とユーモアを交えて諷刺。時局諷刺画を指す「ポンチ」という言葉のきっかけになった貴重書！

左 | チャールズ・ワグマン『THE JAPAN PUNCH』1883年5月号（通期）、右 | 小星・東風人『お伽 正ちゃんの冒険』二の巻（通期）  
いずれも京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム蔵